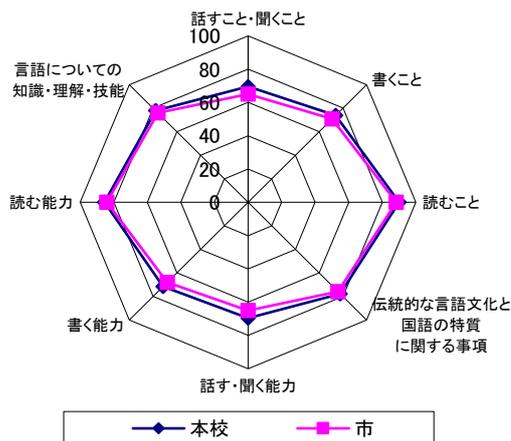


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	69.6	65.0	62.9
	書くこと	73.9	70.9	71.3
	読むこと	90.0	88.4	87.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.6	75.8	75.3
観点別	話す・聞く能力	69.6	65.0	62.9
	書く能力	71.6	68.0	68.0
	読む能力	85.5	84.2	82.8
	言語についての知識・理解・技能	77.9	75.9	75.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○校内正答率は69.6%で、市の正答率を4.6ポイント上回った。</p> <p>○論点がずれている発言に対し、司会者はどのように注意をすればよいかを考える問いに対し、校内正答率は43.7%と低いが、市の正答率を10.5ポイント上回った。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>国語の授業を中心に、すべての教科・領域で、言語活動を位置づけ、取り入れていく。特に学級活動における話し合い活動では、司会者を全員が経験できるように配慮し、司会者の役割を理解できるように支援していく。</p> <p>どの授業においても、友達の発言を聞いて、その工夫に気付いたり、論点がずれていたら軌道修正ができるような助言をしたりして、互いに高め合えるような言語活動を進めていく。</p>
書くこと	<p>○校内正答率は73.9%で、市の正答率を3.0ポイント上回った。</p> <p>○意見と理由を区別して書く問いに対し、校内正答率は77.8%で、市の正答率を7.4ポイント上回った。</p> <p>●資料の内容を読み取り、文章に適切に書き表す問いに対し、校内正答率は44.4%で、市の正答率を7.0ポイント下回った。</p>	<p>文章校正を考えて書いたり、自分の意見の理由を明確にして書いたりする活動に継続して取り組んでいく。</p> <p>新聞の記事や資料などから、必要な情報を読み取る際に、中心となる語や文を捉えて、必要な情報を見つけるよう指導する。そのためには、社会科や算数科で学習したグラフの読み方を確認する。読み取ったことを文章に書き表す際には、事実と自分の感想、意見とを区別しながら、必要な内容を整理して書くよう指導していく。</p>
読むこと	<p>○校内正答率は90.0%で、市の正答率を1.6ポイント上回った。</p> <p>○文章の表現の工夫を読み取る問いに対し、校内正答率は93.7%で、市の正答率を4.6ポイント上回った。</p> <p>●文章の内容を的確に読み取り、筆者の考えを選択する問いに対する校内正答率は79.4%で、市の正答率を3.5ポイント下回った。</p>	<p>物語文では、ものの見方や考え方を広げるために、物語を読んで感想を伝え合う活動を取り入れ、一人一人の感じ方に違いがあることに気付かせ、自分の考えを広げたり深めたりするように支援していく。</p> <p>説明文では、筆者の意図や考えを想定し、自分の知識や経験などと結び付けて読み、筆者の考えに対し、自分の考えを明確にするような活動を取り入れていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○校内正答率は77.6%で、市の正答率を1.8ポイント上回った。</p> <p>○第5学年の配当漢字を書く問いで、「建築」の漢字の校内正答率は74.6%で、市の正答率を11.4ポイント上回った。</p> <p>●国語辞典の使い方の問いに対し、校内正答率は63.5%で、市の正答率を8.1ポイント下回った。</p>	<p>漢字の読み書きについては継続して指導していく。5・6年配当漢字だけでなく、他の学年の配当漢字も定着が図れるよう、復習プリントなどを活用していく。</p> <p>授業中や日常生活の中で、習慣的に国語辞典を活用するように声掛けをし、国語辞典を活用できる力を身に付けていく。</p>